

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (はまぎくのつぼみ)

(文) 学部 (3) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

5回目の活動となりましたが、今回も仮設住宅にお住いの皆さまや学童の家の皆さまに温かく受け入れていただき、無事に活動をすることができました。今回は参加者が複数おり、計画を事前から練っていたこともあり、わたくし個人としては特に運営の方に力を注いで活動ができました。写真撮影をすることで客観的に自分たちの活動を眺めることができ、また主観的に参加していただけではわからなかった視点も見えてまいりました。また、今回は5名中3名が初参加ということもあり、この時期になって初めて被災地に赴くという視点も改めて感じ、聞き取ることができました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

ほかの参加者も指摘しておりますが、男性の方との交流が必要であると感じております。実際私たちが今回用意していった活動内容も、ミサングづくりと郷土おやつづくりという男性の方にはなかなか参加しにくいプログラムとなってしまったことも反省点です。これは、わたくしたちの活動の根源的な課題ではありますが、顕在的なニーズだけではなく、集会所に来たくない、または身体的な面で来られないという方々のためにもなにかできないかと考えております。この部分については、自分たちだけでは限界があると思っておりますので、今後地元の自治体と協力しながら考えていけたらと思っております。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

被災地に行かなくともできることが今後さらに求められてくると思います。被災地で生産された特産物や仮設住宅にお住いの皆さまが作られたものを販売するラインを大学内でも作ったり、わたくしたちが介在して紹介したりという方法が考えられます。

また、前述のように集会所に来られない方々のための支援も、地元の団体や役所などと共同して検討できたらと考えています。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

このたびは手厚いご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。団体の代表として約半年間参加者を募り、活動を続けてまいりましたが、毎回参加を検討されている方から寄せられる声として多いのが、金銭面での負担の話でした。宮古市へのアクセスとしては、直通の夜行バスがあるものの約10時間かかってしまい身体的な負担が多く、一方、新幹線と都市間高速バスを乗り継いでまいりますが金銭的な負担が大きくなってしまいます。その点で、岩手県まで足を伸ばしてきてくださる方が限られてしまっていたのですが、今回はこのように支援いただき、多くの方より問い合わせをいただくことができました。

わたくし個人としては、昨年9月の大島の支援にも参加させていただき、浅野さまには大変お世話になっております。目標として、継続して支援していくことを掲げておりますので、今後もまたご支援いただくこともあるかと思っておりますが、精一杯活動してまいりますので、よろしく願いいたします。

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (はまぎくのつぼみ)

(法) 学部 (3) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

今回で宮古を訪れるのは5回目でした。回を重ねるたびに沿岸部や市内から3.11の地震や津波による“爪あと”は消えていっているように思います。しかしそれと比較して、実際に生活している人々の心の復興は緩やかであるという印象を持っています。また、その速度も個々人で相当な差があると感じています。半年にわたり定期的に、同一の場所で活動することを通じて、子どもたちや仮設住宅の方々に生じている心の変化を感じ取ることができています。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

今回活動したしまったような仮設住宅談話室に集まっている人の多くは、高齢の女性です。これは多くの仮設住宅に共通していると思います。そこで、私達が見ることができていない男性や、来ることができない、または交流を求めている方々への支援はないものかと考えています。

また、仮設住宅の方々は必ずしも元来同一の地区に住まわれていたわけではない、ということを知りました。そしてこれは個人の感想ではありますが、世代を越えた交流が少ないように感じています。単発のイベントも大切ではありますが、すべての世代が長期的な関係性をもてるような仕組みを作る支援がより求められていると思います。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

東北以外に住んでいる方に少しでも多く3.11に対する関心をもってもらうために、より参加しやすいボランティアの企画、アクセスしやすい情報源の提供が重要であると考えます。このような活動が、最終的に被災地で生産されたものを買うという方向に発展するように思います。

あるいは、こちらからの寄付の他に、地元の方々からも寄付を募り、様々な世代が交流できるようなお祭りを企画するのがよいと思います。こちらが一方向的に企画・運営・実施を行うのではなく、少しずつ現地の方々にも参加していただくことで、地域の連帯性の向上やコミュニティー形成の一助になると考えます。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

団体運営に携わるものとして、また一参加者として、金銭面での多大なるご支援ありがとうございました。私ができることは大変些細なことではありますが、現在のような活動などを通じて、少しでも被災地の復興に貢献していきたいです。

再び「絆基金」を利用させていただくこともあるかと思えます。そのときは、またどうぞよろしく願いいたします。

以上

年 月 日 提出

信行寺 / 「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (はまぎくのつぼみ)
(総合政策) 学部 (3) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

東京に居てもマスメディアを通して、(特に特集番組が多いNHK)被災地の現状を知り続ける事が大切。

興味の薄い周囲の人に被災地への認識を聞いてみるなどして一人でも多くの日本人の脳にひっかかる事が大切。

何よりも現地で出会った人と継続的に思いを交換し合う事が大切だと感じた。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

子供たちの精神ケアを政府やNPOや私たちのような大学から派遣されている出自が明確な人間が率先していくこと。

定期的に精神状況や物理的現状を記録して次起こりうる災害時に役立てること。

被災地で生産された商品を優先的に仕入れること。

3. 被災地支援のアイデア(企画、具体的な活動内容など)を記入して下さい。

大学主催の形で地元の市民から現地ボランティア参加者を募集して派遣すること。

特に10代前半や10代に満たない幼い子供と親を対象にし、次代を担う人々に当事者意識を植え付けることが目的。体と目で見ることが本当に肝要だ。

ボランティアというよりも意見交換・要望を聞くことが近いかもしれない。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

生活費を自分で稼ぐ私にとってこのような機会がなければ被災地はテレビの中の出来事として間違いなく終わっていました。

これこそが人材を育成支援する大学が給すべき正しいお金の使い方だと痛切に思いました。

こうした生活状況で被災地を気にかける首都圏の学生が沢山おります。

私たちは今後人生通じて何らかの人的・経済的支援を必ず続けていきます。

本当にありがとうございました。

以上

年 月 日 提出

信行寺 / 「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 ()
(文) 学部 (3) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

宮古市の現在の情報です。私は震災以来、今回初めて東北を訪れました。様々なメディアで震災地の情報は聞き見てきましたが、その地に降り立って、自分の目で見ることによってその被害の凄まじさを感じました。また、人に話を聞いて、今では大分前に進んできたところであると知りました。そして、仮設住宅ではそこに住むおばあさん方と、児童館では小学生の子どもたちと交流して彼らの生の声を聞いて、彼らの感じていることを知り、共有ができたと思います。今回の活動を通して、参加しなければ知ることのできない宮古市の本当の今の情報を得ることができたことが一番の収穫でした。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

孤独老人という問題の解決が非常に求められると思います。今回このボランティアで仮設住宅に行き感じた事は、交流を求めてくる人は女性の方が多いということでした。また女性は女性同士交流を持っていると感じました。そこで男性はどうしているのだろうかと思いました。やはりこのようなボランティアとの交流の場の中々参加しづらいのではないのかと思います。内容としても手芸やミサンガ、料理といったものだったので、男性にも参加しやすい交流の方法を考えるべきだと思いました。地方にはやはり高齢の方が多く、また一人で住んでいる方もいると思います。彼らが孤立しないように、特に孤立しやすいのではないかと考えられる男性への配慮が必要だと感じました。

3. 被災地支援のアイデア(企画、具体的な活動内容など)を記入して下さい。

囲碁や将棋などの男性が参加しやすいゲームを教えてもらう。または、できる人がいれば一緒に対戦するなどの交流。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

東京から岩手県に行くというだけで中々と尻込みしてしまうくらい遠い距離にさまざまな支援があるということで参加する決断ができました。そしてこの経験を通して、愛着が湧き、宮古市のことを近くに感じるようになりました。様々な問題を自分の近くにより感じられるようになり、これからどうしていけばいいのか親身になって考えるようになったと思います。ありがとうございました。

以上

年 月 日 提出

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 ((ほまぎくのつほみ))
(文) 学部 (|) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

被災地に赴いてのボランティアは決して特別なことではなく、自分のできる範囲で支援をすればいいということ。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

ボランティアからは離れてしまいますが『被災地復興』の観点から考えると被災地の商品を買うことが一番ありがたいと地元の方がおっしゃっていました。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

上記に関連して地元で(特産品など)を買ってみるということを盛り込む。ただ、これは活動内容というよりかは個人の意識の問題

4. 浅野代表へ一言お願いします。

金額面での負担が被災地に赴くにあたって一番ネックとなっておりましたが、今回ご支援いただきましてありがとうございます。

以上